



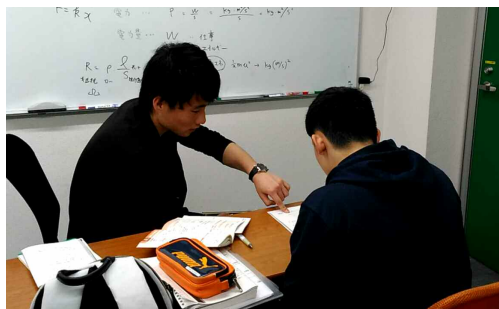
「大学受験の道のりは、決して楽なものではない。」
「絶対合格できるという保証があるわけではない。」
「確実に点が伸びる絶対的な方法があるわけでもない。」
しかし、塾生たちは、一日一日を、地道に、熱い心と冷静な努力で充実させてゆく。一日の終わりに、晴れやかな表情で帰途へつく。それが確かな歩みであることを実感する。
こうした確かな成長の軌跡が、日々えがかれるその毎日を、西荻塾で過ごしてみませんか。

“ウォームハート・クールヘッド” の精神

アルフレッド・マーシャル（英国の経済学者）は、ケンブリッジ大教授就任演説で、「社会的苦悩を克服するために自らの最善の能力をすすんで捧げようとする、冷静な頭脳と温かい心情を持つ人々の数を一人でも多くすることが私の念願である。」と述べました。「受験勉強はしょせん受験勉強」という見方があるかも知れないけれども、それぞれが将来羽ばたくための重要な過程であることは否定しようがありません。妥協せずに、「ウォームハート・クールヘッド」の精神を忘れずに受験に取り組んで欲しいと思います。



一緒に悩み、喜び、戦う「変な塾」



もっとも、点が出なければ、つらい。入試で落ちたくない。それは正直な受験生の気持ちであると思います。自ら主体的に考え、実践することが真の学問への道である、そのようなことはもちろん正論ではありますが、ただそれを唱えるのみでは塾として無責任というほかありません。努力が報われる喜びを体験してもらいたい。そして、受験が終わっても、学びを不断に継続するモチベーションを保ってもらいたい。だからこそ、西荻塾に、これでもかと受験生の「正直な気持ち」を素直にぶつけてほしい。それに応えられるだけの場所を提供することが、西荻塾の使命であると考えています。

小手先に頼らない骨太な思考力養成

ともすれば、テクニック・丸暗記・物量作戦に目移りするのが受験勉強や受験指導。しかし、入試問題をきちんとひも解けば、そのようなものだけで乗り切れるはずがないことは明白です。

実際の入試では、原理原則の確かな論理的理解と科目全体を通じた体系的な理解、さらには解答に至る論理的過程、そして枝葉となる知識の量がまんべんなく問われています。

受験勉強といえど、それは築き上げてきた人間文明の礎の一分野。安直に接することなく、リスペクトをもって、きちんと理解し、血肉化させていく。西荻塾は、インプットとアウトプットをバランス良く配分しながら、小手先に頼らない、応用の利く骨太な思考力を養成します。



【大学受験部授業方針】

西荻塾の授業は、①専門性に裏打ちされた授業、②添削結果を活用した授業、③ソクラテスメソッドの活用、④自習指導との密な連携、の四本柱が特徴。がっちり四方を固めて、隙のない授業を展開します。

■ 専門性に裏打ちされた授業

西荻塾は、受験生が学習の過程で抱く知的好奇心に応えうるだけの専門性と素養を十分に身につけた講師達が待っています。「ずっと腑に落ちるその瞬間まで」—いつでも、いつまでも受験生達と語り合う時間を大切にしたいと思います。

微積分やベクトルのふわっとした感じや、なんとなく読む評論文、雰囲気読んでいた英文解釈…是非、教室での専門性に裏打ちされた論理的説明に触れていただき、目から鱗が落ちる瞬間を体験してもらいたいと思います。解ければいい、では解けないのも事実ですし、受験勉強であっても、知的好奇心に素直になってほしいと考えています。

■ 添削結果を活用した授業

試験会場でのコミュニケーション手段は、答案用紙と受験生が握った筆記具のみ。添削結果をそのまま授業で活かすことで、受験生が自らの努力の結果と持てる実力を余すところなく答案にぶつけられるための指導を行います。

たとえば、近年、いわゆる「自由英作文」を課す大学が増えてきました。早慶、難関国立大ではあたりまえのように出題されています。

しかし、これを英作文の授業で扱うとして、添削抜きにどう講義をするというのでしょうか。そして、添削結果に目を通さずして、目の前の塾生たちに効果的に授業が出来るのでしょうか。

西荻塾は、効果的な授業を行うために、実際に授業を担当する講師が授業前に直接添削を実施します。

添削は、機械的なものとどまらず、記述の方法から、内容の深さに至るまで、入試で求められる記述力を添削によって徹底して鍛えます。さらに、添削後すぐに授業で活用することが前提となっていますので、提出と復習がタイムラグなくして可能です。

当塾の講師（のほんの一部紹介）

●赤星講師（東京大学経済学部卒、東大院環境学専攻修了）

高校部総括、担当科目：数学・現代文・日本史・その他

山川を釣り竿をもって走り回る野生児が、高校で一念発起して血のにじむ努力を経て東大へ。真つ当な努力の方針を説いて、受験生をその気にさせる当塾の物知り博士。幅広い科目に通じており、受験生の全体像からバランスの良い進路指導を行う。間髪を入れない問答と笑いの絶えない授業で90分が矢のように過ぎる。

●中村講師（東京大学教養学部（理系）卒）

担当科目：数学・化学・生物

ハイレベルな緻密かつ「かわいい」化学の板書に生徒たちは驚愕・圧巻の表情。地方から東大に浪人して進学した苦学人だけに、その語りから生まれる努力への要求は的を射たもの。有機化学の短期集中講義も目玉。

●常藤講師

担当科目：化学・生物・古文

無機化学の神様。生物の女神。古文の女傑。様々な伝説をこの塾で生み出してきた。当塾指導歴も長く、西荻塾の長所をふんだんに活かして、絶対の妥協を許さない指導が心強い。努力はかくあるべき、というのを目の当たりにするだろう。

●平井講師

担当科目：英語・世界史

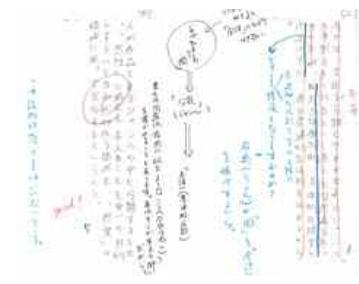
この人の授業、わかりやすい！と目からうろこの生徒談に裏付けられる授業は、彼自身の努力の軌跡によるところが大きい。まっとうな努力を、まっとうな時期に履践してきた経験を活かして、生徒を一挙に引き上げる。



数学は、計算の過程に至るまで、きちんとチェックする。無駄な計算、無駄な記述は入試で命取りになりかねない。想定していないエレガントな解答にうなることもしばしば。

英作文は、電子メールを活用し、事前に十分な添削時間を確保した上で綿密に添削。この添削例では、その後3度書き直しを命じました。

※ITを余すところなく活用して授業を設計。



国語の添削は、日本語として自然が、単なる抜き書きに終始して理解が浅くないか、論理的か、様々な視点から答案を考察する。このことで、きちんと問題文を読めているかが透けて見える。

■ ソクラテスメソッド

西荻塾は、ソクラテスメソッドを取り入れて授業を実施しています。

ソクラテスメソッドとは、生徒と講師で発問、発話等を頻繁にかわしながら、予め予習してきた内容を踏まえ、解答のプロセスの確認や現場思考能力を鍛えていく手法です。「無知の知」で知られるソクラテスに由来しますが、実際、塾生たちは予習である程度の解答を作ってくれても、意外に問答に窮することはしばしば。その「意外」性に実は、弱点だったり、無理解だったりがあることがある。無知の知とまではいきませんが、こうした知的トレーニングこそ、ソクラテスメソッドの最大の利点です。

もっとも、使いこなすもの一苦勞であり、専門知識や指導経験が不十分な者が下手に手を出すと、問合いが悪かったり、質問が曖昧だったり、タイミングが無意味だったりするためにたんなる迷惑にしかなりません。

当塾では、ソクラティック・メソッドを十分にこなせる講師以外は教壇に立たせていません。

■ 自習指導との密な連携

西荻塾では、授業のみならず、授業外の時間帯において、それぞれ一人一人の塾生の志望に合わせて、各人別の指導をさらに強化していきます。自習のやり方、科目別のエネルギーの配分、長期休暇の過ごし方、日々の時間の使い方や進路の相談、直前期何を優先すべきか…もろもろと、受験生の悩みに正面切ってぶつかっていく体制です。単なる「授業屋さん」ではない、君たちと一緒に戦っていく当塾専任講師たちが、対話を繰り返し、塾生たちと授業内外でがっちりとした信頼関係を築き上げていきます。

授業を担当する講師が直接自習にメスを入れることがどれだけ効果的か。西荻塾は創立以来、これをずっと貫いてきました。

そして、いつでも、自習が出来るスペースを確保しています。講師がいているときは、質問相談息抜き何でも OK。ときに、あまりに自学自習ができていないようだ、と、「呼出し強制自習タイム」も…ありますよ。

★ソクラテスメソッド中継 < 論述日本史の授業中 >

【第1問】長野県諏訪地方では製糸業の発達が目覚ましく、明治後期になると、県外からも多数の工女が集められるようになった。これら工女らによってうたわれた「工女節」に、「男軍人女は工女糸をひくのも国のため」という一節がある。どうして「糸をひく」ことが「国のため」と考えられたのであろうか。明治期における日本の諸産業のあり方を念頭において、150字以内で説明せよ。(東大・日本史・論述問題)

講師「では、まず明治期における諸産業のあり方はどうだろうか？ A 君どう？」

生徒 A「日本の産業革命は、軽工業が中心です。紡績業が中心だったかな。」

講師「そのとおり。紡績と製糸の違いは？ B さん。」

生徒 B「紡績が綿で、製糸が生糸！」

講師「OK。A 君さ、紡績業中心って言ったけど、設問は製糸産業だ？ では、製糸業とどうリンクさせるのか？」

生徒 A「紡績業は機械や原料を輸入に依存してどうしても貿易赤字になってしまう。そこで、正貨を蓄積する役割を果たしたのが製糸業だ！」

講師「これはこないだやったよね！銅の果たした役割の問題のとき。よしよし。B さん、製糸業が正貨蓄積って、その論理を埋めてもらえる？」

生徒 B「生糸産業は、原料から加工まで一貫して国内で可能だったから、輸入に頼る側面がないからです。」

講師「よし、ここまで OK。では、もう一回設問を見てみよう。「男軍人女は工女糸をひくのも国のため」とあるが、これをわざわざ引用してあるのはどういう点が問題になるの？」

生徒 A「え、単なる引用に過ぎず、無視して一般論を書けばいいのではないですか？」

講師「東大の資料は使い切る。無駄なものは載せてこないよ。男は軍人、女は糸を引く、という対比になっているが、あえてこの部分が引用されているのは、東大が何かを求めているということ。さてそれは何か。はい、考えて！」

……長いのでこの辺で。このようなやりとりを全科目でやります。頭に残る、深く刻み込むお手伝いです。

(なお、この中継は、自作自演ではなく、本当に2014年度の一橋大論述日本史であったやりとりを再現したものです。)

●切磋琢磨できる環境を

西荻塾では、受講生どうし在籍校は異なれど、お互いに刺激し合いながら、ともに目標に向けて突き進んでいく雰囲気があります。クラスの仲間どうし、短期・長期の目標を定めあい、そしてそれをお互いに検証しながら、勉学に励む様子をしばしば目にします。何もそれを必須としているわけではないのですが、ともに戦っていく仲間の存在は努力を継続する何よりも助けとなります。西荻塾では、そのような雰囲気作りに努めています。



●常設の自習コーナーあり

西荻塾では、常設の自習スペースを確保しています。受験生や定期試験前を中心に多くの生徒が利用しています。空気清浄機、専用荷物棚等、充実した設備のもと、自習が可能です。

また、自習スペースの近くには、担当講師たちの控え室とコーヒープレイクコーナーが近接していますので、いつでも質問等可能ですし、ある意味緊張感をもって学習に励むことができます。

合格実績

2018 年度実績

【国公立大学】

東京医科歯科大（歯）、筑波大（理工学群）、首都大学東京（理学部、法学部）、東京海洋大（海洋工）、北海道大（経済）

【私立大学】

早稲田大学（商）、上智大（総グロ）、東京理科大（理工、経営）、東京薬（薬）、北里大（薬）、昭和薬科大（薬）、明治薬科大（薬）、東京女子、日本（芸術、経済）、東洋大、駒澤大、明治大（理工（化学、数理、建築））、法政大（理工）、中央大（理工、金融、文）、立命館大、明治学院大、工学院大（建築）、東京都市大、玉川大、相模女子大

★受験生データ(3月9日現在)

現役生 18名・既卒生 5名

第1志望合格者数 16名（うち既卒4名）・進学先決定者数 18名（うち既卒5名）

【2017 年度実績】

早稲田大（政経、教育）、慶應（文）、東京理科大（理工）、上智大（経済、理工学部）、立教大（文）、工学院大（建築）、昭和女子大、大妻女子大、日本歯科大、武蔵大、東京都市大、成城、獨協大、実践女子大、東京経済（特別給費生含む）、日本大（航空宇宙）、神奈川大

【2016 年度実績】

東京大（理Ⅱ）、筑波大（社会工学類）、京都工繊大（建築デザイン）、慶應義塾（経済[2]）、早稲田（文構[2]、理工）、国際基督教大（理）上智（経済、経営、文[2]、法、理工）、東京理科（理工、理）、東京学芸、立教（文）、明治（総数、商、法、理工）、青山学院（理工）、明治学院（国際）、成蹊（法）、東京都市（知識工）、東京女子（現代教養）、東京造形（デザイン）ほか

【2015 年度実績】

一橋大学（商）、慶應（文）、早稲田（文化構想）、上智（文）、立教（異文化、文[史、文芸]、社会）、明治（文、商）、青山学院（文）法政（法[政治]）、中央（総合政策、商）、成蹊（文、経済）、麻布（人間環境）國學院（文[外国語]）、玉川（農）、東京農業（醸造）、東京造形（デザイン）、東京女子（現代教養[国際]）、津田塾（学芸[英文]）、東洋（文）、明治学院（法）ほか

【2014 年度実績】

大阪大学（人間科学）、上智大（経済）、中央大（文）、法政大（経済）、青山学院大（社情）明治学院大（社会）、成蹊大（経済）、武蔵大（経済、社会、人文）学習院大（文[心理]）、日本大（経済・文理）、東洋（経営）、国学院大（経済）、東京女子大（社会、コミュ）日本女子大（現代社会、文）、白百合女子大（文）

【2013 年度実績】

東京大（理Ⅱ）、東北大（工学部）、早稲田（法、政経、商）、慶應（経済）、国際基督教大（理系）東京理科大（基礎工）学習院大（理、法、政治）、明治大（理工、政経）東京女子大（コミュ、心理、史学）、芝浦工大（工）、専修大（心理）、共立女子大（児童）白百合女子大（発達心理）防衛大（理系）1次（学科試験）合格 ※2次面接辞退

以下は、実績合計：2009年～2012年度。

【国公立】

一橋大学 1名 京都大学 1名 信州大学 2名 高知大学 1名

【私立】

慶應義塾大学 3名 早稲田大学 2名 東京理科大 1名
明治、立教、中央、学習院、東京女子大（特別給費生含む）
成蹊大、成城大、武蔵大、東京農大、東京経済、武蔵野大等

※いずれの実績も、正規通常授業受講者のみ掲載。講習会、合宿のみ、短期受講生等は含みません。